

「人権について考える」（給食時の放送において）

231205

今週、12月4日～10日は、人権週間です。毎年、この時期になると「人権」が話題となり、「人権」について考える機会が増えると思います。では「人権」って何でしょう。今から、私がテレビを観ていて感じたことから、人権についてみなさんに伝えます。

テレビ番組によく出演している芸能人に「出川哲朗」さんという人がいます。「充電バイクの旅」は、私は大好きで毎回観ています。テレビ画面の中では、よく周りの人からからかわれて笑われたり、呼び捨てで呼ばれたり、馬鹿にされて仲間からいじられたりしています。それでもいつも笑顔で、周りの人を笑わせています。一流の芸能人だと思います。では、この出川哲朗さんと突然道で出会ったら、皆さんはどうしますか？テレビで見ているとおり、「あ、出川だ。」などと気軽に声をかけますか？だとしたら、それは大変失礼なことです。出川哲朗さんという人間を大切にしていないこととなります。テレビで見る彼の姿は、テレビ番組の中で作られている「出川哲朗」というキャラクターであり、普段の出川さんはキャラクターではなく、一人の「人」として大切にされなければいけません。

みなさんは、友達と接する中で、いじりキャラ、いじられキャラなどという意識で接してしまうことがありますか。また、そんな接し方をしている光景を見たことはありませんか。例えそういう言動をとる側に相手を傷つける気持ちがなくても、悪意はなくても、そして、それを見て見ぬふりをしている人がいることも含めて相手を悲しませ、傷つけることとなります。その人は、本当にそのキャラでいることを受け入れていると思いますか。相手の本当の気持ちを想像できていますか。

私たちの身近な生活の中には、いじめや虐待、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別といった多様な人権問題が依然として存在しています。常に相手の気持ちを想像できる人、自分だったらと置き換えて考えられる人であってほしいと願っています。